

**■授業の目的及び到達目標**

英語教員として身に付けておくべき、英語教育に関する基礎知識を学びます。到達目標は、英語教員として必要な教育学、言語学、心理学の理論を理解するとともに、文法や語彙、表現、4技能（聞く、話す、読む、書く）の教授理論を習得することとします。また、教育実習に必要な英語力、コミュニケーション能力、説明能力や技術、教員として適切な態度も育成します。

■授業計画

- 1 オリエンテーション 英語科教育の目的
授業内容や授業の進め方を説明します。
また英語科教育の目的について考察します。
- 2 英語の国際化
国際語としての英語の在り方や、異文化理解に関する指導について解説します。
- 3 学習指導要領
教育に関する法令、学習指導要領の変遷、および現行の学習指導要領の内容について解説します。
- 4 学習者要因
発達要因、適正要因、認知的要因、動機などの学習者要因について学び、生徒の特性や習熟度に応じた指導を考察します。
- 5 英語教員
英語教員として必要な技能を、生徒に与える心理的影響から考察します。
- 6 早期英語教育
小学校における英語教育の目的や方法、および小・中・高等学校の連携を考えます。
- 7 外国語教授法①
Grammar-Translation Method, Oral Approach, Audiolingual Method の指導法を学び、その効果や問題点を考察します。
- 8 外国語教授法②
Total Physical Response, Natural Approach, Communicative Language Teaching の指導法を学び、その効果や問題点を考察します。
- 9 外国語教授法③
Content-Based Instruction, Task-Based Language Teaching, Content and Language Integrated Learning など近年の教授法の概念を学び、その効果や課題を考察します。
- 10 第二言語習得と英語教育
第二言語習得に関する理論を学び、英語教育における活用法を考えます。
- 11 eラーニング・CALL・ICT&教材研究
言語学習におけるテクノロジーの効果的な利用方法について学びます。
教材論を概観し、教材研究の意義を考慮し、教科用図書を分析・評価します。
- 12 Team Teaching／英語でのインタラクション
日本の英語教育におけるティーム・ティーチングの理念、成果や課題を考察します。
授業で英語使用の機会を増やすため、英語でのインタラクションの指導方法を学びます。
- 13 まとめと試験
前期の授業を総括し、理解度を検証するために試験を行います。
試験終了後、フィードバックとして簡単に解説します。試験の得点は Blackboard でお知らせします。

■授業の方法

授業は講義＋ディスカッション形式で行いますが、教育実習を視野に入れて、理論を実践に移す準備をします。

■予習・復習

原則、毎週課題を出します。教科書を読んでノートを作成してから授業に出席していただきます。授業終了後はノート整理をしていただきます。ノート作成には1時間程度必要です。また、授業終盤には教授法に関するプレゼンテーションをしていただきます。その準備には3時間から5時間必要です。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

ノート作成（10%）、試験（60%）、プレゼンテーション（30%）で評価します。

■教科書・参考書

教科書：望月昭彦編著(2018).『改訂版新学習指導要領にもとづく英語科教育法』大修館書店

■関連する科目

教育課程論 教育原理 教育史 教育方法I/II 教育・発達心理学I/II 英語教育入門

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

高等学校での教育経験があります。